

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62

NAOHARU TODA

OGAKI CHAMBER OF COMMERCE
KURUWAMACHI OGAKI GIFUKEN JAPAN



NO.12

昭和32年4月15日 (April, 15, 1957)

第62区ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー
第62区ガバナー 戸田直温

○ 国際ロータリー定例理事会決定事項 (Summary of the Decision of the Board of Directors)

国際ロータリー定例理事会は去る1月米国エバンストンのR.I本部で開かれました。其決議事項の重なるものの要項を次に掲記します。

(一) 現在世界各地では厄介な事が起り緊迫した事態に立ち至つて居る所もある。多数のロータリアンは之れに対し非常に憂慮して居るが理事会としても亦全く大に關心を持つて居る。今こそ世界人類間の相互の理解と善意が最も必要な時であると信ぜられる。依つて各ロータリークラブ及びロータリアンは既定のロータリーの改策方針に遵い即ち政治外交面に觸れない範囲に於て此緊張を緩和してロータリーの目的理想を推進し世界各国人民間の理解と善意を深め以て平和の将来に努力すべきである。勿論之れに依つて各国人民間の誤解反感或は平和を後退させる様な言動は最に慎じまなければならない。

此緊張せる世界の現状は国際ロータリーに非常な關心を懐かしむるに至りたるに鑑み理事会はR.I.会長に此際特別委員会を組織する様要請する。此委員会は世界各地

のロータリアンより成り第一にロータリーの理想目的の達成を阻害する如き緊迫状態の依つて起りし原因を探究し第二に此緊迫状態の緩和の必要性を理事会に勧告し第三に其緩和に関する実行方策を建てる事を主眼とする。

(二) 1958年6月米国ダラスで開かれる国際ロータリー大会に国際ロータリー定款並びに細則及びロータリクラブ標準定款並びに細則の修正議案(58-1)を提出する事に決議した。其修正事項中の重なるものは次の通りである。

1. R.I.理事会の定員14を16に増員する。
2. R.I.理事の任期を1年とする(現行2年)
3. R.I.会長は選挙されて其就任直前 President-Elect としての一年間は理事会の一員たる事。
4. 地区が地区ガバナーノミニーを選挙する事が出来なかつた場合はR.I.理事会は其地区ガバナーを選挙する事が出来る。
5. パストサービス会員はパストサービスになつた時に己にシニアアクティブの資格のあつた場合には自己の選択でシニアアクティブ会員となる事が出来る。
6. 出席補填に関する基準定款中の規定の修正

(三) ロータリークラブの存在する各国には種々な原因

から故国を後にして避難し知らない 他国で淋しく哀れな生活を送つて居る人が多数ある。之れ等の人々に救の手を伸べて明るい希望を持たせる様 親切に温い友情を示す事を理事会は各ロータリークラブ及ロータリアンに強く要望する。

○ 地区協議会 (District Assembly)

当62区 1957~58年度地区協議会は、去る4月2日(火) 3日(水)の両日、名古屋観光ホテルに於いて開催せられ、平塚仮クラブを含む地区47クラブの新会長・幹事の100%出席をもつて真摯且つ盛会の裡に幕を閉る事が出来ました。此の事は当日出席された会員諸君の熱心なる態度と、柳瀬、伊藤両パストガバナー及び盛田ガバナーノミニーを始め、柏原、神野両文献委員それに御繁忙中にも不拘態々御出席下された 笹部、山本、小川、真柄、鮎谷、永沼の各リーダーの真摯且つ御懇篤なる御指導の賜であり、参会者一同深く感佩いたしました事と存じます。茲にガバナーとして厚く御礼申し上げる次第です。尚ホストクラブとして本会が無事無滞終了致すよう準備その他日夜お骨折り頂きました名古屋クラブ 盛田会長、荒川幹事始め会員諸君の並々ならぬ御苦労に対しましても誠に感謝の他ありません。茲に併せて厚く御礼申し上げます。

出席

会長	46名	
幹事	46名	
委員長外	141名	
計	<u>233名</u>	(クラブ数 46)

来賓及び役員 12名

総計 245名

協議会要項

第1日(2日)は、午前10時 登録開始、10時30分より君ヶ代とロータリーソングの斉唱に始まり、盛田ホストクラブ(名古屋)会長の歓迎の辞、次いで私から地区協議会の目的について申し上げ、11時50分から各関係問題についてのプレゼンテーションを行つた。指導要項及びリーダー次の通り。

ロータリー文献の利用 (川崎) 笹部 誠氏

クラブ奉仕関係 (豊橋) 山本 貞氏
 職業奉仕関係 (津島) 小川 熈正氏
 社会奉仕関係 (金沢) 直柄 要助氏
 国際奉仕関係 (名古屋) 鮎谷賢太郎氏
 ロータリーフアウンデーション(横浜) 永沼 政久氏
 以上の諸問題に付き、延々5時間の長きに亘るプレゼンテーションではありましたが、出席者諸君には真に熱心なる聴講に及び且又リーダー各位の御懇切なる御指導を賜り、より一層ロータリー精神に対する現解を深めて頂きましたことと存じます。尚此の折、原水爆問題に関する「ロータリーとしての考え方」につき質問があり、続いて活発なる意見が各クラブから出されましたが、一応こういう問題が出たという事を、R.I.本部へ通知反映を促すことといたしましたから御了承下さい。次いで私から地区内に於けるエキステンションの機会について御説明申し上げ第2日を無事終了することが出来ました。

翌2日の協議会第2日はグループ別研究部会で、午前9時30分開会、会長部門、幹事部門、一般部門の3つに分かれ、会長部門には私、幹事部門には柳瀬パストガバナー、一般部門には、モデレーターに伊藤パストガバナー、パネルに、山本、小川、真柄、鮎谷の諸君、それに柏原、神野両文献委員にも顧問として御出席願ひ夫々来るべき年度におけるロータリー活動について適切なる指導が行われた。

斯くして1957~58次期会長、幹事及び委員長の為に開かれた第62地区協議会は名古屋ホストクラブの一方ならぬお骨折りと共に、柳瀬、伊藤両パストガバナーを始め各リーダーの適切且つ御懇篤なる御指導と参加会員諸君の熱心なる態度とにより、無事、無滞2日間に亘る日程の全部を終了いたしました。殊に新会長、幹事諸君の100%出席をもつて盛会の裡に幕を閉じる事ができたのは、来るべき年における諸君の御活躍を如実にものがたるものであり、ガバナーとしても感佩の他なく又、大いに期待して止まない次第であります。尚、御承知の如く来る7月1日より地区編成の改正が行われますに伴い、山梨(甲府)神奈川(藤沢、川崎、小田原、横浜、横浜東横須賀)両県下のクラブは、将来355区となるべき現60区に編入されますので、今回の地区協議会も両県下の方

は、60区の方へ出て頂くよう伊藤60区ガバナーとも相談いたしました。会場狭隘の為名古屋の方での伊藤ガバナーのお答えでしたから此方に出て頂きました事をお断りいたします。

○ 公式訪問の感想 (Impression on Official Visits)

3月18日に富山ロータリークラブを訪問致しました。富山は徳川時代より売薬の製造行商の盛な所であつて所謂富山の薬屋さんとして其足跡は北海道より九州の果までに及び其個人としての信用は絶大なものである事は周知の事実であります。其昔番公は売薬に対して先用户利の語を其信条として与へたとの事其意は利益よりも先づ人の為めと云う事之れロータリーの奉仕の精神に合致して居ります。之れが富山の伝統的精神である以上は富山のクラブも自づと奉仕の意識旺なりと云うべきであります。即ち青少年奉仕関係に於ては其活動顕著なるものがあります。青少年との懇談会を開いて隔意なく意見を交換し県市教育委員会とは密接な連絡を取つて学生の補導及び表彰に当る等誠に適切な活動振ります。尙一層各方面への奉仕の実を挙げられん事を望みます。

高岡クラブを次いで3月19日に訪問しました。此クラブは会長はじめ各会員が非常に熱心であつて出席は甚だ優秀で出席率100%の月も多く、感佩しました。富山と全く此地方は電力も豊富で良港に恵まれて居るので、産業的に興隆の意気旺んであります。従つてロータリーとしてのクラブの将来も非常に有望であります。会員も社会職業奉仕関係の活躍活潑で「四つのテスト」の掲示標を市内各方に建て、其他にも実用化し、青少年関係では不良化防止防犯を主として懇談会などを開催されて居ります至極事宜に適した活動と存じます。又新入会員に対しては数週間後にロータリーの感想希望を例会で述べさせてロータリーの理解と早き全化に努めて居られます。尙一層ロータリー活動及び伸展を祈ります。

3月20日には高山クラブを訪問しました。此クラブは設立後日も未だ浅く且何れのクラブも遠く離れて孤立の位置にある不利なクラブで而かも其地域も広汎に亘り会員の例会への出席も困難に伴い冬期など積雪で交通も

杜絶する事も往々あり此点同情に堪えません。会長、幹事もフォーラムを開き或は爐辺会談を催して会員の指導には努められて居りますが出席率は余り宜しからず此点に関し大に苦慮して居られるのは認められます。他クラブからの訪問者も亦殆んどありませんが夏季になれば乗鞍登山の起地として亦状況も一変致す様です。クラブでも乗鞍等には力を入れて山上の清掃浄化等には力を入れ又「四つのテスト」を刻んだ指導標を山上に建設する計劃も出来て居ります。由来高山は京都の如く至極平和な静かな街です。高山クラブが主となりて此平和境にロータリーの理想精神を推進普及せしめられたならロータリーの目的を達せられると思います。どうか各会員諸君一層の御発奮を願います。

○ 盛田ガバナーノミニ米国へ出発 (Governor-Nominee Morita left for America)

ガバナーノミニ 盛田秀平君は、米国レーキブラシッドで開かれる国際ロータリー協議会及び瑞西ルサーンで開催される国際ロータリー大会に出席の為に4月4日羽田空港を出発、米国に向はれました。カナダ政府から特別の用向きで招請があつたので少し早目に出発されました。御帰朝は北極圏を超えて羽田着6月13日の予定です。レーキブラシッドでは1957-58の新しいロータリーの指導方針を授けられて一層ロータリーを研鑽、又国際大会では各国のロータリアンと友好を深くしロータリーの知識を深くし康で帰朝せられるのを祈ります。

○ 神奈川県下各クラブインターシチーフ オーラム (Intercity General Forum of all clubs in Kanagawa prefecture)

神奈川県下各クラブ並に甲府クラブのインターシチーフフォーラムは藤沢クラブがホストクラブとなつて4月20日藤沢市秩父宮記念体育館で開かれます。フォーラムリーダーは伊藤バストガバナーにお願い致しました。柳瀬バストガバナーも御臨席して頂きます。関係各クラブへは已に藤沢クラブより案内状が送られて居ります。多数の会員参加せられ真摯に研究所期の目的を達せられん事を切望致します。

○ 1957～58会長及び幹事 (1957-58 Presidents and Secretaries)

各クラブの1957-58会長及び幹事も全部決定しました。之れ等次期会長及び幹事の諸君は各其クラブの衆望を担はれて選出せられたのでありまして誠に お芽出度く衷心からお祝いを申し上げます。4月2-3の両日名古屋で開きました第62区協議会には100%全部出席相成りまして熱心真剣にロータリーに就いて勉強研究されました事に対して大に敬意を表します。来るべき7月よりのロータリー年度に於ては只今より其準備をされてロータリーの目的達成に懸命に努力され、其結果必ずや光彩ある1957-58となるものと期待し又確信して居ります。尙1957-58会長及び幹事の名簿は只今印刷中ですが出来次第各クラブへ御送り致します。

○ 次年度各種

次年度各種委員を第62区協議会で次の如く委嘱致しました。宜しく願います。

文献委員	豊橋クラブ	神野太郎君	(重任)
地区資金委員	名古屋クラブ	滝兵右衛門君	(2年)
	沼津クラブ	小林完君	(3年)(新任)
	富山クラブ	若林元四郎君	(1年)(新任)

「ロータリーの友」編集審議会委員

一宮クラブ	安野讓次君	(1年)
沼津クラブ	磯部泰輔君	(2年)(新任)

○ 次年度地区大会 (District Conference-1957~58)

次年度から当第62区は第360区と地区番号が変わりますが、次年度-1957-58の地区大会は第350区第355区と3地区合同して合同地区大会が東京南クラブがホストクラブとなり、東京都千代田区谷東京体育館で9月29日(日)30日(月)の両日開かれる事に決定しました。其大体のプログラムは次の如き予定です。

9月28日	前夜懇談会	
9月29日	大会第一日	午前9時30分開会 午後6時30分晩餐会
9月30日	大会第二日	午前9時30分開会

午後5時閉会

登録料	地区内	3,000円
	地区外	3,500円

尙前夜懇談会の会場は未定ですが各クラブから会長幹事外1名計3名宛出席の予定です。

各会員諸君は御家族全伴振つて参加され親睦友好を厚くされん事を只今より御願ひ致します。

○ 新クラブ (New Rotary clubs in 62 District)

仮クラブであつた次の二つのクラブが今回 R.I. 本部より承認され国際ロータリーのメンバーとなりました誠に慶祝に堪えません。ロータリー活動に努められてロータリーの理想の実現を期せられん事を祈ります。

1. 岐阜南ロータリークラブ

承認昭和32年3月25日

事務所	岐阜市神田町1	協和興業株式会社内
例会場	岐阜市神田町1	協和レストラン
例会日	木曜日	12.30
会長	高橋順吉	
幹事	渡辺孝	

2. 名古屋南クラブ

承認昭和32年4月1日

事務所	名古屋市瑞穂区堀田通9の10	日本ミシン製造株式会社内
例会場	名古屋市中区大池町	名古屋商工会議所
例会日	水曜日	12.30
会長	天野春一	
幹事	安井友七	

○ 柏原孫左衛門君の美挙

文献委員の柏原孫左衛門君はどこのクラブでも又どの会員も知らないものはない位いいロータリーには最も親しみのあるロータリアンであります。吾国多数のロータリークラブを創られ又育ての親であります。今回種々お芽出度い事の重なつたとて其喜びと感謝の為に\$500(18万円)をロータリー財団に寄贈されました。先きに元 R.I. 理事手島知健君が此額を寄附されてロータリー財団の名誉会員として R.I. 本部より表彰せられましたが柏原

君は日本に於ての第二番目に表彰され此名誉を担はれる事になりました。各会員の諸君に此事を御紹介して諸君と共に柏原君に満腔の敬意を表します。

○ ロータリー財團奨学資金寄附
(Rotary Foundation Fund)

クラブ名	據金額	新会員 @ \$10-	旧会員 @ \$1-
伊勢屋垣	¥ 10.800	3名	—名
名古屋	18.000	5	—
大垣	3.600	1	—
四日市	10.800	3	—
横浜	34.560	—	96
横浜	3.600	1	—
吉原	11.520	—	32
合計	92.880	13	128

(アルファベット順)

第62區 1957年 3月分 出席率表

今月 順位	クラブ名	例会 数	今月末 会員数	対期初 増減	出席率 出の 算上 会員数	出席率
1	川崎	3	55	+3	55	100.00
2	横須賀	5	45	+9	45	100.00
3	高岡	4	34	=	34	100.00
4	伊勢	4	32	+2	32	99.25
5	熱海	5	26	+2	26	99.23
6	沼津	5	48	+3	48	99.14
7	津島	5	29	+3	29	98.62
8	伊東	4	28	+1	28	98.20
9	一宮	5	41	+6	41	97.58
10	藤沢	4	25	+1	25	97.00
11	岡崎	4	37	+2	37	96.62
12	名古屋西	3	56	+9	56	96.25
13	吉原	3	32	-1	32	95.84
14	浜松	4	49	+9	49	95.40
15	豊橋	3	48	+1	47	94.32
16	横浜東	5	31	-1	31	94.23
17	刈谷	4	29	+2	29	93.97
18	尾西	4	29	+9	29	93.96
19	半田	3	33	+3	33	93.72
20	松本	4	30	-2	30	93.33
21	多治見	4	32	+7	32	93.00
22	大垣	4	39	+3	39	92.95

23	岐阜	5	49	=	48	92.88
24	小田原	4	31	=	31	92.74
25	蒲郡	5	28	+3	28	92.48
26	四日市	3	51	-1	51	92.30
平均出席率 (45クラブ)						92.10
27	清水	4	41	+3	41	92.07
28	津	5	37	+2	37	91.88
29	富山	4	49	+2	49	91.30
30	松阪	4	37	-2	37	91.21
31	横浜	4	97	+2	93	91.12
32	静岡	4	52	+4	52	89.70
33	桑名	4	36	=	36	89.50
34	名古屋	4	119	+7	118	89.39
35	礪波	4	30	+3	30	88.33
36	美濃	5	21	=	21	87.62
37	岐阜南	1	24	=	24	87.50
38	甲府	4	39	=	39	87.20
39	上野	4	35	+1	35	87.14
40	金沢	4	71	-1	71	86.62
41	七尾	4	22	+3	22	85.23
42	魚津	5	23	=	23	81.70
43	飯田	4	31	+6	31	71.46
44	小松	3	34	-1	34	79.41
45	高山	4	30	+1	30	73.10
合計						1.795 +103 1.788 92.10